



19970530
[9701]
総41号
発行
桂坂
自治連合会
広報編集部

「計画の策定」段階から 保育所は 皆さんと共に！

五月一八日に開かれた恒例の「桂坂みどり会」には行政側から京都市民生局福祉部、羽室課長が参加され「桂坂保育所・児童館建設ワークショップの概要」について、次のような内容の発表がありました。

- Ⅰ：整備事業の内容
● 運営形態
公設民営保育所と児童館（合築）
- 場所
西京区大枝山町四丁目
- 整地面積
市有地 一、九六四㎡
- 建物構造（予定）
鉄筋コンクリート造二階建
- 延床面積 九五〇㎡
- 保育所部分 六五〇㎡
- 児童館部分 三〇〇㎡
- 定員
保育所 九〇名
児童館 六〇名
（但し、定員枠は柔軟に考える）
- 整備スケジュール
平成九年度
基本設計・実施設計
平成一〇年度
工事中工・竣工
平成一一年度四月開設
- Ⅱ：施設の特徴
地域に開かれた、子育て支援のニーズに応える保育所・児童館
- 一時保育・緊急時の特別保育・延長保育
- 子育て相談
- 保育所・児童館の運動
- 住民協力の施設運営、児童健全育成のボランティアの参画、等
- Ⅲ：「市民参加」・「ワークショップの手法」による設計計画——「事業の計画策定等の過程で、市民と行政職員が対等の立場に立つて共働作業を行い、一定の成果を創造していく手法」
- 六月中旬より設計・建設の責任者と住民が会議（ワークショップ）を持ち、その会議で設計・計画を結論の段階まで作っていきます。
- Ⅳ：スケジュール
平成九年六月～九月に、四～五回のワークショップ（一回に三時間程度）
- Ⅴ：ワークショップ参加者
桂坂地区住民（特に子育て中の人や、支援を

お願いできる人）
（2） 保育所・児童館職員・建築専門家・関係行政職員
（3） 運営主体、その他
なお、ワークショップの住民側参加者の人選については自治連合会に一任という事で了解を得ました。



さる五月十八日、平成九年度「桂坂みどり会」が開催されました。「桂坂みどり会」は、桂坂学区各種団体の正・副会長、自治連合会役員・委員等の総称で、本年度は発足から四年目となります。

まず初めに、桂坂保育所・児童館の新設について市の担当者の方々より説明がありました。

この児童館は、私たちが以前から望んでいたものであり、またその設計計画に当たっては、市民参加のワークショップの手法を採用することと、大変興味深くお話を伺いました。地域と行政の協力により、よりよい施設が建設されることを願っています。

また現在、この桂坂における大きな関心事の一つとして、「イズミヤ出店」があります。それにもなう環境、交通の諸問題に関し

桂坂への出店計画については今まで幾度となく計画され、その都度、立ち消えとなっていました。

今度のイズミヤの出店計画は、用地の買収が完了し、「大店法」の申請（六月初旬、「大店審」によって「店舗面積の決定」も出され、地元商業者に対する説明会も行われるなど、いよいよ具体性をおびてきました。

イズミヤ側には、地元の私たちが「出店説明」は自治連合会を通じて行いたいとの意向があり、同社開発本部開発部より自治連合会に「出店計画書」が提示

されたことを受けて、去る十八日の「桂坂みどり会」の席上、菊池自治連合会長より公表されました。

「地域生活者の生活便利店」（食品、生活雑貨を中心とする高頻度リピート商品の品揃えを充実させる）

Ⅱ：店舗計画
地下一階、地上二階の

テナント
一、三六〇㎡
共用部分
一、二三〇㎡
飲食、ほか
四三〇㎡

の合計 四五二台
イズミヤ側では、周辺地域の環境悪化問題、交通問題や商業秩序の混乱など、地元や商業者の団体などになりまますので、ご意見などありましたら、各自治会を通じてお寄せ下さい。

「生活便利店」

イズミヤ 桂坂店の 出店計画

■ 食品・生活雑貨を中心に「生活便利店」

三階建て（一、二階は売り場。地下と屋上は駐車場）
■ 建物の延床面積
一八、一九二㎡
■ 駐車台数—地下、屋上並びに平面駐車場の
五、九九五㎡

後方部分
四、七三七㎡
■ 駐車台数—地下、屋上並びに平面駐車場の
五、九九五㎡

よりよい桂坂のために
—みどり会に参加して—
ひいらぎ自治会 南郷美紀

この桂坂も、平成十一年の秋で、誕生から十年になります。

桂坂小学校の角垣校長先生のご挨拶の中に、子どもたちに知恵を身につけさせるためには、人と人とのふれあいが大切であるというお話がありました。家庭はもちろん、地域全体でそういったことを考えて行ければ、と同時に、学校、各種団体、自治会の協力関係が大切であると思えました。

毎年恒例の自治会対抗ソフトボール大会が、天候に恵まれた五月十一日、桂坂小学校で実施されました。朝八時半に開会式が行われ、今年度はケガ人もなく、無事進行されました。結果は、

優勝 かえで自治会
準優勝 しらかば自治会
三位 はなみずき自治会
あかしあ自治会
でした。

決勝戦は、しらかば自治会にもセンターオーバーのホームラン性のあたりがあり、得点のチャンスだったのですが、フェンス越しに球が飛んだことから二塁打となってしまう（「桂坂ローカル・ルール」といって、フェンスを越すと二塁打とするもの）ホームベースを踏めないという一幕もありました。そのまま押さえられて、結果は「八対〇」でかえで自治会の見事な勝利でした。

そこで今回は、かえで自治会のピッチャー金村氏にインタビューしてみました。

栄冠はかえで自治会に！

さつき自治会 井出信子（編集委員）

わたし、個人的には、自治会の勝負うんぬんでなく地域の方々がお互いふれ合うということが大切で、下手でも、上手でも、どうしても苦手なら応援だけでも、それでも良いと思います。

「日曜日だからゆっくり寝たーい！」なんて言わずにあなたも、また一緒に参加し、応援し、爽やかな汗をかいてみませんか。最後に、各自治会の出場された選手の皆様、次の日、筋肉痛はなかったですか？ご苦労様でした。

第9回 自治会対抗ソフトボール大会

「防災研修」体験記



去る五月十一日、桂坂自主防災会が寄せられました。主催の研修会が市民防災センターで紙面に制約があつて一度に掲載す行われました。参加された方から送る事ができません。毎号、幾篇かの時の貴重な体験をもとに様々な感づつ載せてゆくことにいたします。

防災体験に参加して

さつき自治会
川上 博

五月十一日(日)、市民防災センターで行なわれた、桂坂学区自主防災会主催の「市民防災体験」に参加しました。

桂坂学区十一の自治会防

災部から各四名づつ、合計四十四名と、自主防災会本部の四十名、総員八十四名が大型バス(二部マイカー)に乗り込み、桂坂を八時過ぎに出発しました。

防災センターは、その日午前中は桂坂自主防災会へ貸切りという事で、係の皆様が暖かく迎えてくれました。早速四階の講堂で受講概要とセンター内設備の説明を受けた後、二班に分かれて体験実習に入りました。

最初は一階での強風体験です。

女性の係員から説明と注意があり、四名づつ室内に入り強風から目を守るためゴウグルを着け、体を支えるポールに掴まると、正面

から風が吹出してきます。

正面のスクリーンには街頭の風景が映し出され、風力が強まるにつれ、街路樹の枝の揺れが大きくなる様子が見え、本当に台風の中で強風に身を晒しているように感じます。風力が秒速三十二メートルになった時には、ポールから手を離すと体ごと吹き飛ばされるのではないかと恐怖感を覚える程でした。

次は地震体験です。

事前の説明と注意を聞いた後、四人づつ体験部屋に入るのですが、ダイニングキッチンに居る時に地震に襲われるという設定になっており、ガスレンジ、瞬間湯沸器、石油ストーブ、食器棚、食卓と椅子、勝手口等が配置されております。四人が食卓につくと家全体が揺れ始めます。ひよいと見るとガスレンジ、湯沸器、石油ストーブが点火されています。それぞれ近く

の者が火器の栓を締めて火を消しましたが、揺れが大きくなつてきて、防災行動がとれたのはそれがせい一杯、四人は床を這うようにして元の位置に戻り、頭や体をぶつつけ合うようにして食卓の下に潜り込むのがやっとでした。

講評で、地震の時、何よりも真っ先に考えてやらねばならないことは、第一に自分の安全を計り行動することであり、その後余裕があれば、火器の栓を締めて火災を防ぐこと、そして出入口や部屋のドアを開けて避難路を作ることと指導を受けましたが、勝手口のドアを開けることは誰も気がきませんでした。

勢いよく飛び出す消火液を火元へ注入すると教えられ、皆が間違いない操作できるものと思つていました。

ところがいざやってみると、消火器を上げて安全ピンを抜くまではよかったのですが、グリップを握っていたために、消火器の胴体に向きが留められていたホースから消火液が飛び出して、足元は水びたし。

慌ててホースを留具からはぐし、火元に向けて消火し始めた時には、消火液の半分位を無駄にしておりました。

簡単なことでも、聞いただけ、頭で憶えただけではいざという時に手順通りの正しい動作を実行することが、意外に難しいものであるという事を痛感しました。

その他、映像体験では、京都が被災した火事や風水害、震災等の歴史と防災活動の現況を映画で見せてもらい、最後に等身大の人形を使つての心臓マッサージの実演を見学しました。

予定通りに体験実習を終え、昼前には防災センターを後にしました。

予定通りに体験実習を終え、昼前には防災センターを後にしました。

編集委員も加わって

新しく、十一名の編集委員が加わり、さらに賑やかになりました。

各自自治会において、この『桂坂』の編集委員として選ばれる際は、「シンドイ仕事ラシイ」との風の便りで、皆さん二の足を踏まれ

囲碁を打つていると多くの人が出逢い、話が弾んで交遊の輪が広がってゆく。「袖振り合うも他生の縁」といいますが、「石打ち合うも他生の縁」というくらい今まで全く知らなかった人とも打ち解けて、旧来の友の如く対局できます。

そんな雰囲気桂坂山の薪という碁の名手がいて手囲碁将棋会員も、年毎に増えて盛況を呈してきました。桂坂囲碁会の特色は有段者が多く、それぞれユニークな棋風があつて、研究掲載いたしました。

高齢者の生きがい

桂坂・山の手倶楽部
西本 博

熱心な仲間の渦中になると自然に上達してゆく恵まれた環境にあることです。

最近テレビなどで、老人のボケをどうしたら防止できるかなどと喧伝されていますが、囲碁将棋を嗜む人はその心配が少ないようです。対局していて勝負相手が次にどんな手を打つて攻めてくるか、それを予感しながら相手の攻めを防いで先手を取る手段を考えながら打ち進めてゆくと、ポ

ろの手に委ねるのではな

囲碁を打つていると多くの人が出逢い、話が弾んで交遊の輪が広がってゆく。「袖振り合うも他生の縁」といいますが、「石打ち合うも他生の縁」というくらい今まで全く知らなかった人とも打ち解けて、旧来の友の如く対局できます。

そんな雰囲気桂坂山の薪という碁の名手がいて手囲碁将棋会員も、年毎に増えて盛況を呈してきました。桂坂囲碁会の特色は有段者が多く、それぞれユニークな棋風があつて、研究掲載いたしました。



花の木ラウンジ

6月の催し

桂坂山の手倶楽部
書道 展

シルバー講座のご案内

洛西ふれあい
保養研修センター

I ターゲット・
バードゴルフ教室

日時 六月二一日
a.m. 10:00 - 12:00
第2回 六月二九日
a.m. 10:00 - 12:00
第3回 七月 六日
a.m. 10:00 - 12:00
(交流大会)

受講料 三〇〇〇円
第3回(交流大会)のみ参加は一〇〇〇円
対象 六〇歳以上なら
どなたでも

定員 三〇名(先着順)
会場 ふれあい会館
申込法 スポーツ広場他
六月一四日まで
電話・FAXで

II 初心者向き 社交ダンス講座

日時 七月九日、
一〇年三月二五日
第2・第4水曜
午後二時~四時

受講料 九〇〇円
(一八回分)

対象 六〇歳以上
定員 男 一名
女 一名
(申込順)

講師 中野耕次氏
III 初心者向き
囲碁入門講座

日時 七月七日、
一〇年三月二日
第1金曜、月1回
午前10時~正午

受講料 九〇〇円
対象 六〇歳以上
定員 二〇名(先着順)
講師 加納明生氏
申込はいづれも七月三日迄
電話、またはFAXで

るみたいで

今のところ大体、月に三回夜の出にくい時間に会議を開いて、広報『桂坂』の編集作業を行っているのだから、「出たら災難、エライ目に遭ウ」といった風聞は、今後とも、永く静かに伝承されていくことでしょう。

プロの手に委ねるのでは

なく、編集から文選(ワープロ入力)、割付け・版下づくり、印刷までの一連の作業をすべて自分でやるのだから、大変といえは大幅です。しかし、それぞれ都合をつけては作業に参加するので、ご協力のほどよろしく願っています。

新しく加わったメンバーをご紹介します。

咲田 いずみ かえで
井出 信子 さつき
谷口 弘 恭 しんがほ
西村 寿子 はなまき
山本 靖 あかしあ
松本 明子 ぼんぼ
牧野 美佐子 けやき
竹中 椒子 ひなこ
秋山 久代 つばき
高井 弘子 しのぶ
井ノ崎 重美 さくら